

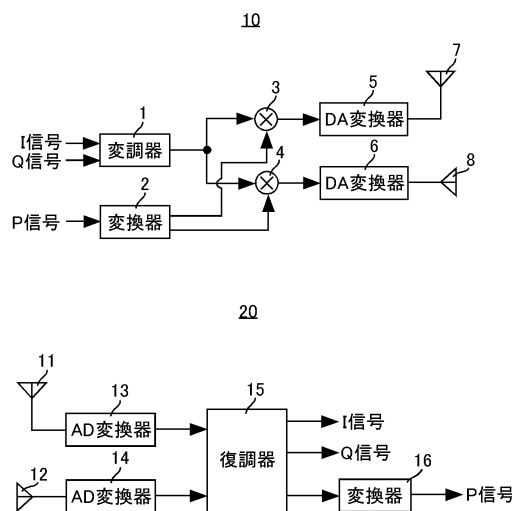
技術の名称

無線通信システム

適用分野

デジタル無線通信

- 目的 直交振幅変調方式において、復調時のデータ判別の誤りを軽減して通信容量を増加させることができる変調方式を用いて無線通信を行なう無線通信システムを提供することを目的とする。
- 効果 本発明によれば、送信機が多くのデータを送信しても信号点間距離が長くなるために、復調時のデータ判別の誤りを軽減することができる。
- 技術概要 送信機からは、I信号とP信号とにより直交振幅変調された搬送波にP信号によって決定された値を乗算して垂直偏波信号と水平偏波信号との合成波が出力され、受信機において送信機からの合成波を復調するとき受信信号が示す信号点に最も近い信号点を判別してI信号、Q信号およびP信号を同時に復調している。

■ 特記事項、
図など

- 主たる提供特許 特許等の名称:送信機、その送信機から電波を受信する受信機およびそれらを備えた無線通信システム
登録番号:
出願番号:特願2010-200194 出願日:平成22年9月7日
公開番号:

- 実施実績 有、 ○無
- 提供形態 ○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先 株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-1171, 1195 E-mail ; patent@atr.jp